児童らの声を取り入れて製作した靴箱＝名張市蔦原小で

長靴入る 靴箱便利だね

名張 蔦原小に伊賀・豊国工業が寄贈

児童らのアイデア反映

伊賀地域の学校とロッカーなどを共同開発しているスチール家具製造「豊国工業」（伊賀市小田町）は、名張市蔦原小に靴箱を寄贈した。掃除しやすい仕掛けや遊び道具の置き場所を作るなど工夫を詰め込んだ。

（北村大樹）

豊国工業の取り組みを知った同校が、創立150周年の記念事業の一環として、さび付いていた靴箱の開発を依頼した。児童や教職員が改善点やアイデアを出し合い「長靴が入れにくい」「靴箱に砂がたまる」「ポールの置き場所がほしい」などの声を集めた。靴を入れる各区画の高さが低く、長靴もきれいに収まらなかったという。

新しい靴箱の各区画の高さは長靴が収まるよう設計。3段に仕切った。上段に上履きを置き、外履きを置く中段は網状にして靴底の砂が下のトレーに落ちる仕組みにした。ポールや縄跳びなども置ける。さびにくい塗装を施し、オレンジや青など各学年ごとに色を変えて玄関を彩った。靴箱は3月中旬に設置した。

23日には、同社の井上明彦社長らを招き、感謝を伝える集会を開いた。5年の宮上叶愛さんと峯山うみさんは「ポールを置く場所があり、休み時間にすぐに使えて便利。いろんな色があり、心も明るくなる。大切に使っていきたい」と話した。井上社長は「世の中にない靴箱ができてうれしい」と話った。

伊賀版

やっぱりおいしい ミエライス

めだかのうた

〈風邪のお見舞い〉
私　（帰り際に）お大事にね
孫　大事って何が？
私　自分の身体のことやよ
孫　あ　そういうことか
もりさわ・みなと（3）＝津市一志町大仰、

〈水梅〉
孫　すんだよ
ひろみ
祖母・南